

# 岡山県学力・学習状況調査の結果に基づいた 学習指導の改善に向けて～英語編～



岡山県学力・学習状況調査の結果に基づき、学習指導の改善のポイントを紹介します。

今号では、英語科における「聞くこと」に関する設問を取り上げます。各校における取組の参考にしてください。



©岡山県「うらっち」

「聞くこと」に関する設問の正答率 (%)

学年	設問の概要	県	全国
中2	対話の内容を聞き取り、適切に回答することができる。(何時に起きるかとたずねられて)	56.3	60.9

## 問題 (例)

これから対話を放送します。対話の最後の応答部分に入る表現として最も適切なものを選びなさい。



- 1 At twelve.
- 2 On Saturday.
- ③ At ten.
- 4 On Thursday.

[Script]

A : Hi, Mary. How are you, today?  
 B : Not good. I didn't sleep well last night. I studied Japanese for the test. I went to bed at twelve.  
 A : Really? It's too late.  
 What time do you usually go to bed?  
 B :

## 誤答からわかること

県調査における同様の設問の誤答を分析すると、誤答をした生徒の内、聞き取った音声に基づいて、時間を選択した生徒が約80%おり、「What time ~?」の質問に対し、時間を解答すればよいことは分かっているが、やり取りを通じて 対話全体の内容を捉え適切な時間を類推して選択できていないことが分かる。

**指導のポイント：対話全体の内容を捉え、適切な応答を考える活動を授業に取り入れる。**

**重要!**



依頼や提案などの話し手からの働き掛けに対する反応の仕方は、場面や状況、聞き手によって様々である。したがって、場面などの設定に工夫をしながら様々な活動を行わせ、どのような応答があり得るか考えさせることが大切である。

参考：「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編」p.57

## 単元・学期の計画

JTEとALTとの日常の対話の他、JTEやALTによるスピーチなど、様々な活動を位置付けます。

## 授業づくりのポイント

### ○目的・場面・状況の設定

これらの設定により、話し手の働き掛けに対する応答(反応)を考えさせます。

### ○考えて応答する発問の工夫

全体の内容を把握し、適切な応答を考えさせる発問を設定します。

単元や学期のリスニングテスト

## 活動例

JTEとALTの会話を聞く言語活動

JTE: Now, we're talking about a party next weekend. I want to invite Mary. And, we have to decide when we will have a party. After listening, please think about some comments at the last part.

JTE: We're going to have a party. Why don't you join us?

ALT: Sounds interesting.

JTE: Do you have any plans next weekend?

ALT: I visit my grandma every Sunday.

JTE: (応答)

定型的一問一答のやりとりに加えて、目的・場面・状況を設定することで、思考力等を働かせながら、「聞くこと」の力を育成することができます。対話やスピーチの内容を把握し、適切な応答を考えたり、話の概要を把握したりするような活動も、ぜひ取り入れてみてください。

